

2014 大分駅付近 連続立体交差事業 事業誌

大分県土木建築部
都市計画課



大分県



Contents

1. 事業の背景	2
2. 大分駅周辺総合整備事業の概要	3
事業概要図	4
3. 大分駅付近連続立体交差事業の概要	6
事業の経緯	7
事業の効果	8
高架化の手法	12
大分駅	13
主要工事	14
工事中の渋滞緩和のためのソフト施策	20
イベント	25
4. 都市計画道路の整備	27
5. 土地区画整理事業	28
6. 鉄道跡地の利活用検討	29
7. 資料	31
大分駅100年史	34
DVD操作説明	36

1 事業の背景

県都大分市は、JR大分駅を中心として、その周辺に都市の機能が集積し、発展してきた。

しかし、中心市街地である大分駅周辺地区は、鉄道により南北に分断されていたため、市街地の一体的発展が妨げられ、踏切の遮断による交通渋滞の発生など、様々な弊害が生じていた。

大分駅付近連続立体交差事業は、道路を鉄道と立体交差化することにより、南北市街地の一体的発展を図るとともに、都市交通を円滑化し、大分駅周辺地域の都心機能強化の役割を担う重要な事業である。

更に、連続立体交差事業とあわせ、関連する都市計画道路の整備や土地区画整理事業等の市街地開発事業を大分駅周辺総合整備事業として一体的に行うことにより、「大分の顔」にふさわしい質の高い魅力のある都心形成を目指す。



2 大分駅周辺総合整備事業の概要

大分駅周辺総合整備事業は、「大分駅付近連続立体交差事業」「関連する都市計画道路の整備」「大分駅南土地区画整理事業」の三位一体の事業として、総合的なまちづくりを行うものである。

①連続立体交差事業

九州旅客鉄道日豊本線、豊肥本線、久大本線の大分駅付近約 5.6km において鉄道を高架化することにより都市交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る。

②関連する都市計画道路の整備

地域高規格道路庄の原佐野線を交通の大動脈として、沿線地域の土地利用等に配慮した整備を行い、連続立体交差事業の実施とあわせて県庁前古国府線等を整備し、駅周辺の交流機能を強化。

③大分駅南土地区画整理事業

高架化により残存する鉄道用地を活用し、駅前広場やシンボルロード等の公共施設の整備とあわせて駅周辺街区の有効高度利用と周辺部の都市型住宅の整備を行い、大きな経済効果と良好な市街地環境を合わせ持つ、大分市の中心市街地にふさわしい地区の創出を図る。



(都) 庄の原佐野線



大分駅「上野の森口」



シンボルロード

事業概要図

大分駅周辺 総合整備事業概要図



大分駅付近連続立体交差事業区間
 JR日豊本線 L=3.65km
 JR豊肥本線 L=1.60km
 JR久大本線 L=1.92km

(都)庄の原佐野線
 整備済区間 L=2.2km
 整備区間 L=1.0km

- 除去された踏切**
- ・長水(入道)
 - ・大学前
 - ・王子中学校前
 - ・春日通り
 - ・草場町
 - ・大道通り
 - ・上野
 - ・東新町
 - ・立体交差下(入道)
 - ・若宮神社
 - ・初瀬せき下
 - ・古国府堂前の2(入道)

土地区画整理事業
 A=49.6ha

- 高架事業 平成20年完成区間
- 高架事業 平成24年完成区間
- 除去された踏切
- (都)庄の原佐野線整備区間
- 事業関連都市計画道路
- 都市計画道路
- 一般市道
- 土地区画整理事業区域

高架側面図

3 大分駅付近連続立体交差事業の概要

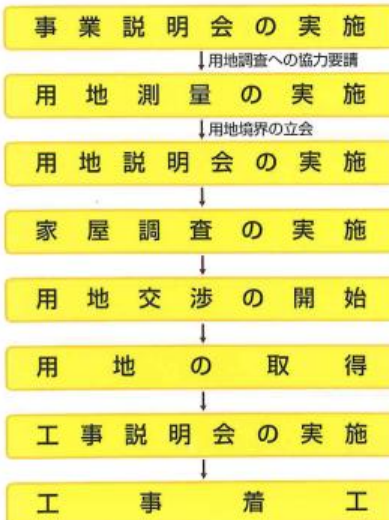
- 1) 事業費：約 600 億円
- 2) 高架化区間：L = 5.57km
 - ・日豊本線 3.65km (豊肥本線 1.60km を含む) 西大分駅東側中島踏切付近～大分川左岸
 - ・久大本線 1.92km 元町 (古国府堂前の 1 踏切付近)～大分駅
- 3) その他：除去された踏切・・・13 箇所
 - ・日豊本線・・・10 箇所 (内歩道 2 箇所)
 - ・久大本線・・・3 箇所 (内歩道 1 箇所)
- 4) 高架化の手法：別線新線方式
- 5) 駅部の規模
 - ・ホーム面数・・・4 面
 - ・線数・・・8 線
 - ・ホーム長・・・133m～190m
- 6) 運転所の移設
 - ・大分電車区南側に併設
 - ・通路線の新設

事業の流れ

【事業の手続き】



【用地取得から工事着工までの手続き】



【工事の手順】



3-1 事業の経緯

昭和45年	大分市国鉄路線高架化促進期成同盟会設立
昭和49年	大分駅高架化促進期成同盟会設立
昭和50年	高架事業補助調査
平成元年	大分駅周辺整備を考える勉強会（県・JR九州）開催
平成 2年	大分駅周辺総合整備構想検討委員会
平成 3年	大分駅周辺地区新都市拠点整備事業総合整備計画策定調査委員会開催
平成 4年	大分駅付近高架化計画基本調査
平成 5年	大分駅高架化促進期成同盟会 JR九州本社に陳情
平成 6年	大分駅南の発展を願う会 県知事及び市長に陳情
平成 6年	大分駅高架化促進期成同盟会 JR九州本社に陳情
平成 6年	大分駅高架・駅周辺総合整備促進協議会設立総会
平成 6年	同協議会東京大会開催 大蔵省、建設省へ陳情
平成 7.8.9年	同協議会 大蔵省、建設省へ要望
平成 7年	補助事業（大分駅付近連続立体交差事業）として採択される
平成 8年 3月15日	大分都市計画都市高速鉄道都市計画決定
平成 9年 3月 4日	大分都市計画都市高速鉄道事業建設大臣認可
平成 9年12月10日	JR九州と基本協定締結
平成10年 6月 9日	大分市と基本協定締結
平成13年 7月12日	大分駅付近連続立体交差事業協議会設立
平成14年12月 7日	大分駅付近連続立体交差事業起工式（高架本体工事着手）
平成18年 2月 5日	国道10号と線路を一晩で逆立体交差化『万寿切替』
平成18年 3月18日	JR九州大分車両センター開業（下郡地区）
平成18年 3月28日	大分都市計画都市高速鉄道事業計画変更認可
平成20年 3月31日	JR九州と基本協定変更締結
平成20年 8月24日	JR 豊肥本線・久大本線高架開業
平成21年 7月21日	（都）王子町椎迫線『春日陸橋撤去工事』に伴う全面通行止め開始
平成22年 2月 5日	（都）王子町椎迫線『春日陸橋撤去工事』に伴う全面通行止め解除
平成23年 1月17日	国道210号『大道陸橋撤去工事』に伴う全面通行止め開始
平成23年 6月 5日	国道210号『大道陸橋撤去工事』に伴う全面通行止め解除
平成24年 3月17日	JR日豊本線高架開業

3-2 事業の効果

① 渋滞の緩和

鉄道の高架化により踏切待ちによる渋滞が解消

<上野踏切>

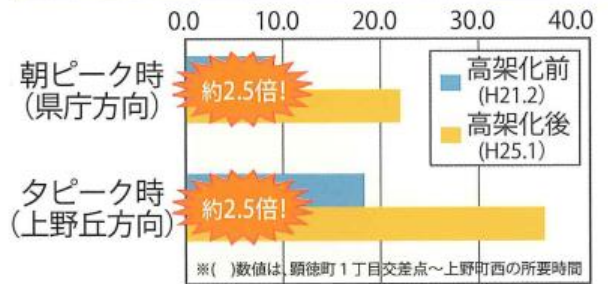


〈高架化前〉
「開かずの踏切」と呼ばれていた



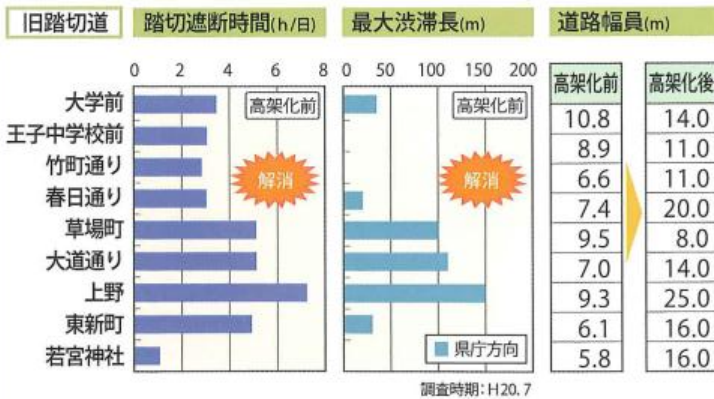
〈高架化後〉
日豊本線高架開業後
鉄道残存敷のレールは全て撤去

自動車走行速度 (km/h) ※上野踏切付近



〈部分開業〉
豊肥・久大本線高架開業後
日豊本線踏切が残っている

鉄道高架化と踏切遮断時間



鉄道高架化と交通量 (国道210号)



①-2 撤去された踏切

●竹町通り 踏切



高架化前



高架化後

●草場 踏切



高架化前



高架化後

●大道通り 踏切



高架化前



高架化後

●上野 踏切



高架化前

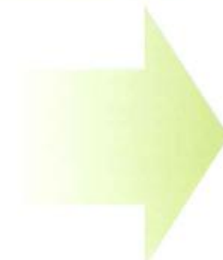


高架化後

●東新町 踏切



高架化前



高架化後

② 鉄道高架化による騒音レベルの低減

九州初採用の弾性バラスト軌道や新幹線で使われているロングレールの採用、防音壁の設置により、電車が地上を走っていた時よりも静かになった。

<弾性バラスト軌道>

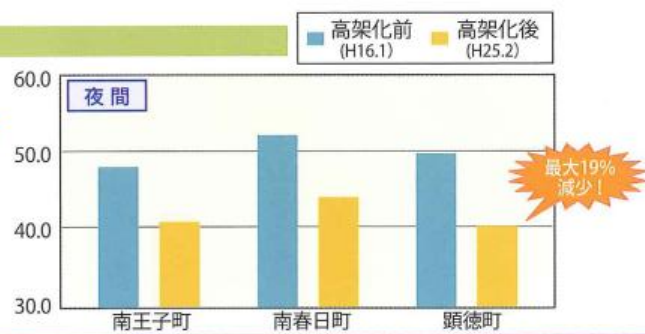
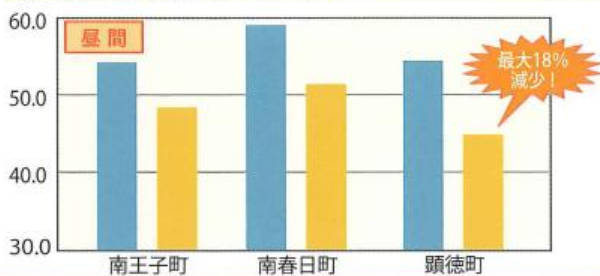


<防音壁の設置>



鉄道高架化と騒音レベルの低減

騒音調査(dB) 測点は軌道から25mの位置



H16・H25騒音調査による等価騒音レベル値

③ 利便性の向上

大分駅を南北に往来できる自由通路が完成するなど、大分駅の利便性が向上した。



移動距離 : 820m → 330m **490m 短縮**
移動時間 : 約10分 → 約4分 **約6分間短縮**



④新しい大分のまちづくり

南北の市街地が一つになったことで、便利でイキイキとしたまちづくりが始まった。



上野の森口（南口）・駅前広場



ホルトホール大分



シンボルロード



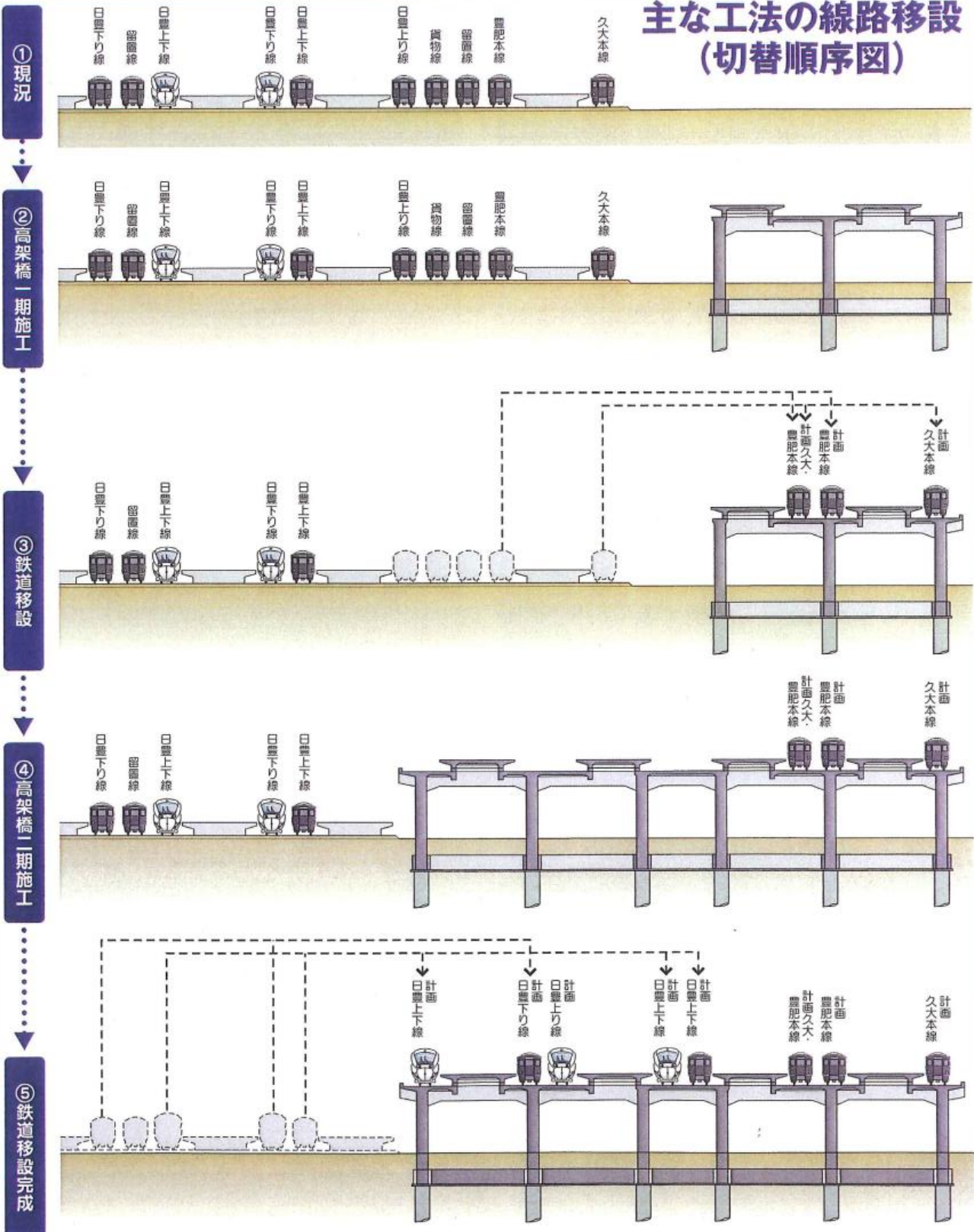
府内中央口（北口）・駅前広場完成予想図



3-3 高架化の手法

●別線新線方式

主な工法の線路移設 (切替順序図)



3-4 大分駅



上野の森口（南口）・駅前広場



宮崎方面側から見た高架ホーム



木材を使用した茶色の天井に白い床、ミニSLが走る広々としたコンコース



白い天井にフローリングの床、コンコースの上下が反転したような空間の改札口



シンボルであるニワトリが描かれたコンコース天井



県産材が使用された落ち着いた雰囲気のを待合室



ウォークスルー型エレベーター



アクリル板を通してホーム天井から柔らかい光が差し込む階段

3-5 主要工事

① 高架工事



平成 16 年 日豊本線 (顕徳町)



平成 17 年 久大本線分岐点 (六坊北町)



平成 17 年 日豊本線 (田室町)



平成 18 年 日豊本線 (要町)



平成 19 年 日豊本線 (大道町)



平成 20 年 久大本線 (元町)



平成 22 年 日豊本線 (新町)



平成 23 年 日豊本線 (田室町)

②万寿逆立体交差工事

●撤去工事概要

工事概要 「線路(JR日豊本線)」を跨ぐ「万寿仮橋(国道10号)」のトラス桁部を、僅か一晩で移動撤去し、逆立体交差化した工事

工事期間 平成18年2月4日～5日

工事区間 大分市錦町～元町

撤去延長 仮橋全長242.3mの内、トラス桁部45.0m

仮橋有効幅員 8.0m

仮橋全幅員 8.0～10.0m トラス桁部8.9m

●位置図



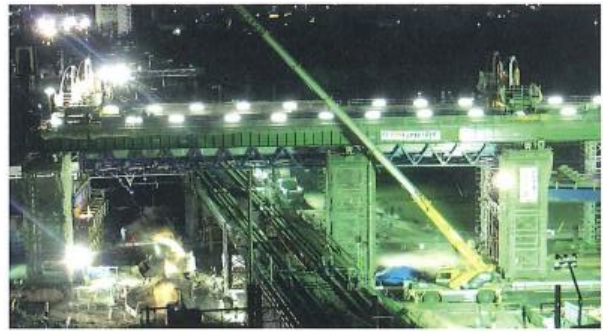
撤去前の万寿陸橋



撤去後の万寿陸橋



工事の様子



③春日陸橋撤去工事

●撤去工事概要

工事概要 日豊本線に架かる跨線橋「春日陸橋」を
 全面通行止めし、撤去した工事
工事期間 平成21年7月21日～平成24年2月5日
工事区間 大分市王子南町～南春日町
陸橋延長 277.4m
陸橋全幅員 一般部10.0m、JR部11.8m

●位置図



撤去前の春日陸橋



撤去後の春日陸橋



工事の様子



④ 大道陸橋撤去工事

● 撤去工事概要

工事概要 日交通量約 5 万台の日豊本線に架かる跨線橋「大道陸橋」を全面通行止めし、撤去した工事
工事期間 平成 23 年 1 月 17 日～平成 23 年 6 月 5 日
工事区間 大分市田室町～新町
陸橋延長 406.0m
陸橋全幅員 一般部 22.5m、橋梁部 21.7m

● 位置図



撤去前の大道陸橋



撤去後の大道陸橋



工事の様子



⑤ 駅部高架工事



平成 19 年 4 月



平成 19 年 7 月



平成 19 年 10 月



平成 20 年 1 月



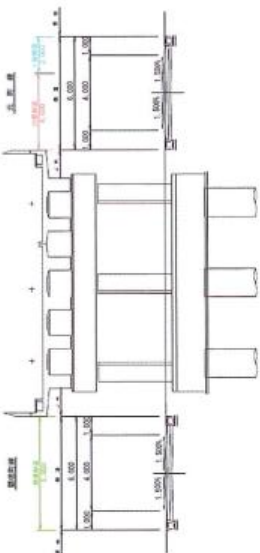
平成 20 年 4 月



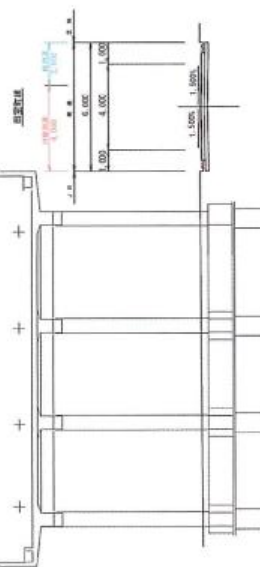
平成 20 年 7 月

6 側道工事

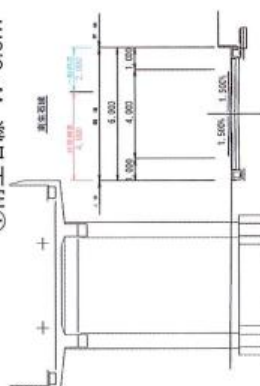
③元町線 W=6.0m



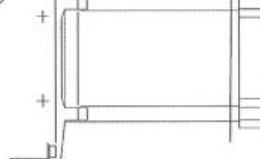
③頭徳町線 W=6.0m



②田室町線 W=6.0m



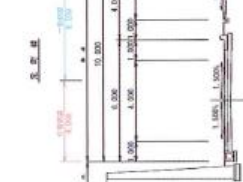
①南生石線 W=6.0m



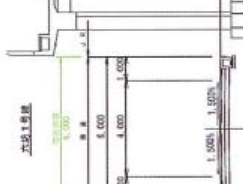
④錦町線 W=6.0m



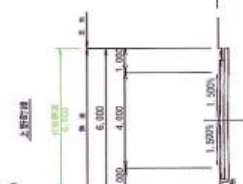
④元町線 W=6.0m



⑤六坊1号線 W=6.0m



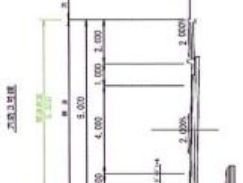
⑤上野町線 W=6.0m



⑥六坊2号線 W=6.0m



⑥六坊3号線 W=8.0m



② 広報活動

● 環境通勤への取組

企業説明会



ラッピングバス



ポスター掲示・チラシ配布



● 陸橋撤去に関する広報活動

地元説明会



陸橋での街頭PR



都市計画教室 (平成 16 年～23 年)



サテライトオフィス設置



中央通りでの街頭 PR



街頭インタビュー



PRうちわの配布

リアルタイム渋滞情報

大道陸橋の工事の内容、進捗状況に加え、大道陸橋全面通行止め時の迂回路情報、渋滞緩和のためのソフト施策の内容など、最新情報をサテライトオフィスより発信した。

大道陸橋撤去工事に伴う迂回路の渋滞状況のお知らせ

迂回路の所要時間 緊急雇用対策事業により

市内方向へ主要3ルート
の権迫入口交差点から
国道10号までの所要時間

調査

交差点の渋滞の長さ

迂回ルートにある
主要交差点における
渋滞の長さ

情報発信



電話
(ナビダイヤル)



ホームページ
(PC・携帯)



テレビでテロップ表示
(大分ケーブルテレコム)

調査状況

調査員参集状況



入力状況



調査集計状況



渋滞長の調査



所要時間調査



所要時間調査



調査範囲



ホームページ

PC版 ホームページ

大道陸橋撤去工事に伴う迂回路の渋滞状況

0570-031-210



携帯版 ホームページ

大道陸橋撤去工事に伴う迂回路の渋滞状況

★平成23年1月17日(月)から

▼新着情報▼

■主要ルート所要時間
【1月17日9時00分現在】
権迫入口交差点から

- ・西方向
- ・北方向
- ・東方向

■渋滞の長さ
【1月17日9時00分現在】
権迫入口交差点から

- ・西方向
- ・北方向
- ・東方向

テレビ局と連動 (交通規制期間中、毎朝放送)

現在の時刻 07:50
国道210号 大道陸橋 全面通行止め中
※今日起り情報更新中!



大分県大分市西園地合衆電機事務所
☎ 097-546-5077

大分県から 市営球技場前通り 国道10号までの所要時間は××分

【PC・携帯】 <http://www.omichirikkyo.com>
【自動音声応答】 ☎ 0570-031-210

テレビCM

7月21日から
来々3月頃まで
大分市 春日陸橋
全面通行止め



来々3月頃まで**全面通行止め**

ご迷惑をおかけしますが
ご協力をお願いいたします。

大分県大分駅周辺総合整備事務所

TEL: 097-545-5677

詳しくはホームページをご覧ください

スイスイ環境 検査



新聞広告

210 **大道陸橋 全面通行止**
ご迷惑をおかけいたします
平成23年8月中旬迄

大分県大分駅周辺総合整備事務所
Tel: 097-545-5677
Fax: 097-545-5691
http://www.pref.oita.jp/

210 **大道陸橋 全面通行止 解除**
平成23年
6月5日
午前4時
から

大分県大分駅周辺総合整備事務所
Tel: 097-545-5677
Fax: 097-545-5691
http://www.pref.oita.jp/

広告塔設置



迂回路情報地図配布



ポスター、チラシ等配布

平成23年1月17日から8月頃まで
大分市 210 大道陸橋
全面通行止

大分県大分駅周辺総合整備事務所
Tel: 097-545-5677
Fax: 097-545-5691
http://www.pref.oita.jp/



注意喚起看板・横断幕設置



3-7 イベント

①豊肥・久大本線高架ウォーキング(平成20年8月16・17日)



②豊肥・久大本線高架開業(平成20年8月24日)



③大分駅高架フォトコンテスト(表彰式 平成21年3月17日)



④カウントダウンタワー点灯式(平成21年4月12日)



⑤ タワークレーンネーミングコンテスト表彰式(平成 22 年 8 月 1 日)



⑥ 日豊本線高架ウォーキング(平成 24 年 3 月 10・11 日)



⑦ 日豊本線高架開業(平成 24 年 3 月 17 日)



⑧ 豊後にわさき市場オープン(平成 24 年 3 月 17 日)



4 都市計画道路の整備

庄の原佐野線等関連街路事業

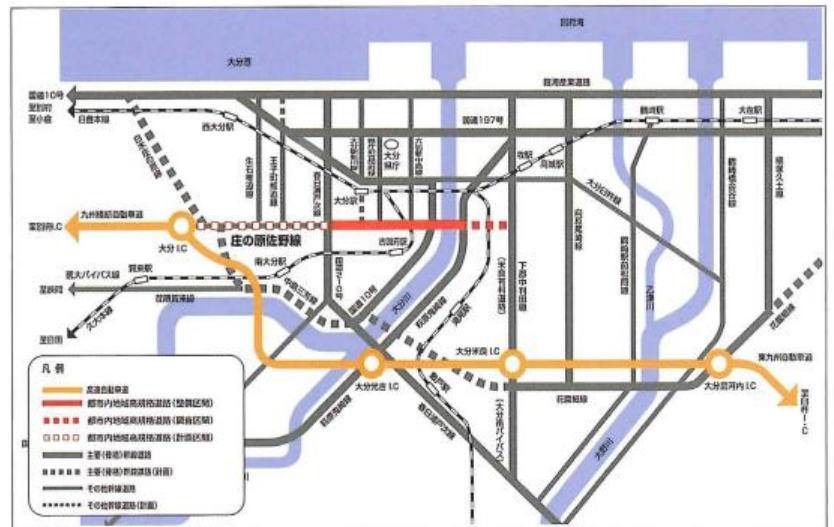
大分駅の高架に伴い南北の市街地が一体化することから、庄の原佐野線を始めとする大分駅周辺の幹線道路を整備し、道路網の再編を行うことにより交通の円滑化を図っている。

また、大道陸橋撤去時の渋滞緩和のために国道10号と国道210号を結ぶ「大道～上野工区」が平成20年までに先行して整備を行った。

●庄の原佐野線の役割

- 1 **都市活動の活性化**
 主な幹線道路である国道10号、国道210号等の大分市内の放射状幹線道路網を補完する東西連携道路として整備します。
- 2 **交通混雑の緩和**
 大分市内に点在する交差点や大分川架橋部における慢性的な交通渋滞を緩和します。
- 3 **広域道路との連携**
 東九州自動車道等の広域道路と大分市内の各都心とを結ぶ都市内道路として、道路間の連携の大動脈となります。

●大分市幹線道路網図



事業の概要

〔大道～上野工区〕
 事業区間：大分市大道町5丁目～大分市六坊北町
 事業延長：L=約2.2km
 道路幅員：W=54m（車道3.25×4車・歩道5.0m×2・側道5.0×2）
 道路規格：第4種第1級
 設計速度：60km/h
 事業期間：平成6年度～平成20年度

〔元町・下郡工区〕
 事業区間：大分市六坊南町～大分市大字下郡
 事業延長：L=約1.2km
 道路幅員：W=31.3m～56.0m
 道路規格：第4種第1級
 設計速度：60km/h
 事業期間：平成20年度～



平成20年9月 開通式



平成26年1月 大分川左岸側より



金池南町から六坊北町方向



平成26年3月 大分川左岸側より

5 土地区画整理事業

大分駅南土地区画整理事業

大分駅南土地区画整理事業は、散在する鉄道跡地や高架化により残存する鉄道用地を活用し、駅前広場やシンボルロード等の公共施設の整備とあわせて駅周辺街区の有効度利用と周辺部の都市型住宅地の整備を行い、大きな経済効果と良好な市街地環境をあわせ持つ、50万都市大分の交流拠点として“まちづくり”を行っている。

事業の概要

施行面積：約 49.6ha

総事業費：約 690 億円

事業施行期間：平成 8 年度～平成 26 年度

大分駅南土地区画整理事業設計図



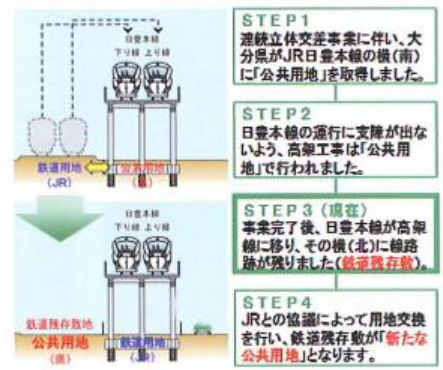
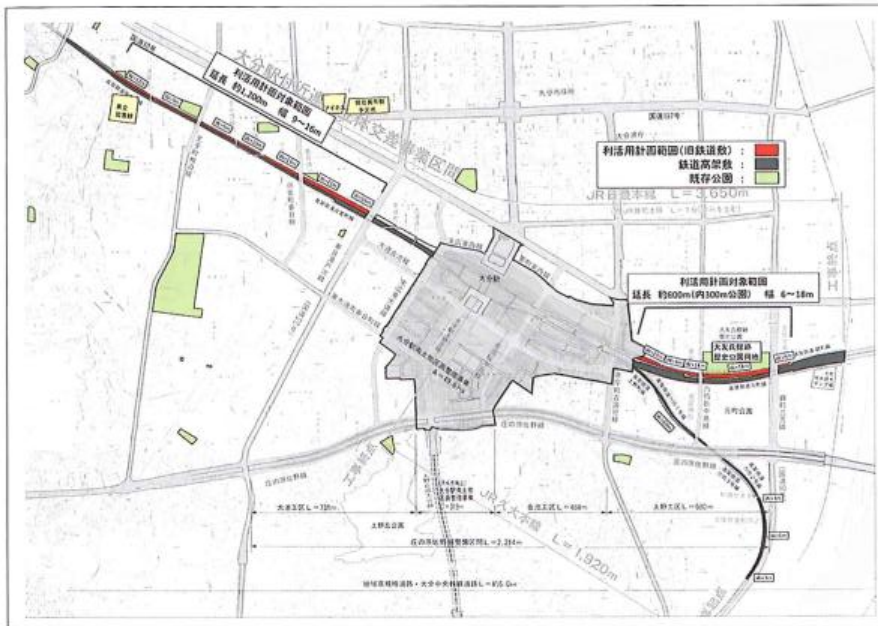
ホルトホール大分とシンボルロード

6 鉄道跡地の利活用検討

鉄道残存敷の利活用について

平成24年3月17日、JR日豊本線大分駅が高架開業した。本県では、大分駅付近連続立体交差事業に伴い、新たに生じた公共用地（残存鉄道敷）の利用活用方法を検討している。

学識経験者等で構成される「残存鉄道敷利活用検討協議会」の下部組織として「残存鉄道敷利活用検討作業部会」を設置し、検討の際に、幅広い世代、様々な立場の方々の意見やアイデアを取り入れ、平成25年10月に大分県知事に利活用方法の提案書を提出した。



検討組織と経緯



提案された利活用の方針

◇「公園（市民が思い思いに使える長い公園）」として利活用。
その「公園」は以下①～⑤の特色を有するものとする。

①道路で分節された土地（以下「ブロック」）毎に特色を持たせ、各ブロックには、人や情報の交流基地（以下「ステーション」）を設ける。
土地形状、周辺施設、利活用形態等を鑑み、西5ブロック、東2ブロックを基本とする。

西エリア

ゾーン (ブロック)	a.学び L=210m W=12m	b.アクティブ・スポーツ L=230m W=9m	c.並木のトンネル L=240m W=9m	d.アート・創作 L=200m W=11m	e.にぎわい創出 L=320m W=17m
模式図	つばさ公園 残存数 高架下 学びSt. 県立図書館	ひばり公園 アクティブSt. (春日隣接跡)		新県立美術館 アート・創作St. 住吉川	田室児童公園 にぎわい創出St. R210 (大道隣接跡) 至 大分駅→
ゾーンの特色	図書館と連携した静かな空間（読書、自習など）	少し広いアクティブな空間（各種スポーツ、お祭り、野外ステージなど）	人・にぎわいをつなぐ並木の空間（散歩、花見、ドッグランなど）	新美術館にマッチしたアート創作空間（屋外制作スペース、屋外展示、表現のステージなど）	人が集いにぎわうチャレンジ空間（イベント広場、チャレンジスペース[草園・舞台・産直等]、こども遊び場など）
ステーションのイメージ	「学び」ステーション ・持ち寄り図書館 ・発表・ワークショップの場 ・カフェ(テイクアウト)など	「アクティブ」ステーション ・利用受付、大会イベントの企画運営基地 ・情報発信、交流スペース ・スポーツカフェなど	—	「アート・創作」ステーション ・アート創作、ものづくり工房 ・発表、交流の場(FabLab) ・アートカフェなど	「にぎわい創出」ステーション ・多目的スペース(交流、イベント) ・情報発信(全てのゾーン) ・カフェ(フードラボ等)
模型					

東エリア

ゾーン (ブロック)	f.文化・交流 L=400m W=18m	g.大友・歴史 L=400m W=18m
模式図	←至 大分駅 南童文化 発祥の地 文化・交流St. サイクリング ターミナル	大友歴史 公園エリア 大友・歴史St. R10号 大分川
ゾーンの特色	南童文化ふる世代間交流空間（イベント交流広場、食育文化、地産池産[菜園、ガーデンキッチン、マルシェ]、蕎麦屋、昔の遊び体験など）	大友歴史公園と調和した歴史の学習空間（発掘観察、屋の観察広場、遊歩道など）
ステーションのイメージ	「文化・交流」ステーション ・歴史文化(はしまりの地)情報発信 ・世代間交流スペース、カフェ ・サイクリングターミナル(レンタル、整備)など	「大友・歴史」ステーション ・大友歴史学習スペース ・発掘情報の発信 ・カフェ(茶、甘味園)など
模型		

②周辺にある施設と地域を結び連携・活用する

地域から、県立図書館～新県立美術館～商店街～大分駅～大友遺跡公園等へとつながる空間
(自転車、遊歩道としての機能)

③自転車走行空間と歩行者・たまり空間を分離する

- ・町の一部として、歩行者、自転車、クルマが共存できる空間
- ・移動しながら出来事をつないでいける空間
- ・動き回れなくても、そこだけで楽しめる空間

④児童公園との一体的活用について検討する

隣接する3つの児童公園（田室児童公園、ひばり公園、つばさ公園）の一体的活用を検討

⑤商業活動（カフェ、直売所、フリーマーケット等）を出来る限り可能とする

市民のアイデアや企画案には、カフェ、農産物直売所、フリーマーケット等、商業活動が数多く含まれている。公共用地の中での商業活動の検討にあたっては、先進事例を参考にしながら、実現に向けて検討

新聞記事

平成4年(1992年)5月1日 大分合同新聞

平成5年(1993年)9月20日 大分合同新聞

平成7年(1995年)9月12日 大分合同新聞

大分駅高架と周辺整備 今年度中に基本計画案

大分市

大分市議会の大分駅高架▽大分駅地区調査費(一)百萬元もあてている。周辺整備特別委員会(委員長▽大分駅周辺整備委員会)が三日日開かれ、今年度の関係予算、事業への負担金として▽新年度に調査を終了。今年度、大分市議会からの説明を受けた。

駅高架と周辺整備に關する市の今年度の予算は、市が事業主体となる駅南地区土地地区画整理事業の関連で、促進進捗成同盟会交付金で説明できるようにする(左)。

大分市議会の大分駅高架▽大分駅地区調査費(一)百萬元もあてている。周辺整備特別委員会(委員長▽大分駅周辺整備委員会)が三日日開かれ、今年度の関係予算、事業への負担金として▽新年度に調査を終了。今年度、大分市議会からの説明を受けた。

駅高架と周辺整備に關する市の今年度の予算は、市が事業主体となる駅南地区土地地区画整理事業の関連で、促進進捗成同盟会交付金で説明できるようにする(左)。

7年度着工めざす 大分駅の高架化で県

県議会一般質問

大分県議会一般質問で、大分駅高架化の進捗状況について、大分市議会の大分駅高架▽大分駅地区調査費(一)百萬元もあてている。周辺整備特別委員会(委員長▽大分駅周辺整備委員会)が三日日開かれ、今年度の関係予算、事業への負担金として▽新年度に調査を終了。今年度、大分市議会からの説明を受けた。

駅高架と周辺整備に關する市の今年度の予算は、市が事業主体となる駅南地区土地地区画整理事業の関連で、促進進捗成同盟会交付金で説明できるようにする(左)。



別線新線方式で 大分駅高架化

日豊線・南朝日線が方針決定
久大本線・北朝日線が方針決定

20年度完成を目指す

大分駅高架化の進捗状況について、大分市議会の大分駅高架▽大分駅地区調査費(一)百萬元もあてている。周辺整備特別委員会(委員長▽大分駅周辺整備委員会)が三日日開かれ、今年度の関係予算、事業への負担金として▽新年度に調査を終了。今年度、大分市議会からの説明を受けた。

駅高架と周辺整備に關する市の今年度の予算は、市が事業主体となる駅南地区土地地区画整理事業の関連で、促進進捗成同盟会交付金で説明できるようにする(左)。

平成8年(1996年)3月13日 大分合同新聞

平成14年(2002年)12月7日 大分合同新聞

建設大臣が認可 15日に都市計画決定

大分駅周辺の整備事業

大分駅周辺整備特別委員会(委員長▽大分駅周辺整備委員会)が三日日開かれ、今年度の関係予算、事業への負担金として▽新年度に調査を終了。今年度、大分市議会からの説明を受けた。

駅高架と周辺整備に關する市の今年度の予算は、市が事業主体となる駅南地区土地地区画整理事業の関連で、促進進捗成同盟会交付金で説明できるようにする(左)。

「京都の玄関、起工」 大分駅周辺の高架化事業



大分駅付近連続立体交差事業の起工式でカマ入れをする(右から)石原了九州社長、平松知事、木下大分市長(左) (大分市会出陣)

大分市は、国鉄清算事業の用地取得費、区画整理を推し進めて行く方針。

大分市は、国鉄清算事業の用地取得費、区画整理を推し進めて行く方針。

大分駅完全高架化が完了

「快適さ日本一」

完全高架生まれ変わった大分駅が17日、開業した。40年余りの歳月と約600億円をかけた大事業、鉄道で南北に分断されてきた大分市の中心市街地は往來がしやすくなり、交通渋滞の緩和も見込まれる。昨年11月に100周年を迎え、2015年春には駅ビルも控えている。地域活性化の大きな期待を抱く。県都の関口が、新時代の一歩を踏み出した。(1面に関連記事)



「出発進行」

出発式で、白旗の南地区自治会連合会会長(いずれ大塚小)と、佐藤の島田、左は藤原大分駅長(いずれ大塚小)。

新大分駅の使用は、午前4時45分発の始発列車から始まった。同時に、駅を長んだ日豊線の大分市生石から大分川原まで3・65kmの高架区間にある踏切10カ所が廃止された。

午前9時から、駅近くの高架下で関係者約190人が出席して記念式典。事業主体を代表して、広瀬副市長と釘宮大分市長が、「長い年月をかけた高架事業がようやく完成した。駅がよ



大勢の人が詰め掛けた新しいJR大分駅のコナコース

いとあいきつした。工藤真治駅長、一日駅長の藤原渡治君、阿部尚香さん(いずれ大分市大道小学校6年)の出席を含めて、高架ホームから博多行き特急列車「ニッコ」を送り出した。

平成25年(2013年)10月4日 大分合同新聞

構想案の模型を使って説明する佐藤会長(右)＝3日、県庁



大分市内の線路跡地構想

検討協、知事に提案

鉄道残存敷利活用検討協は、大分市のJR大分駅高架化に伴う線路跡地利用構想の提案書を広瀬副知事に提出した。

利活用する線路跡地は現在空き地になっている約2万5千平方メートル、大分駅から西に延びる約1・2キロと東に延びる約0・8キロで約2万5千平方メートル。提案書によると、形状や周辺施設との関係を考慮し、土地を7ブロックに分けてテーマに沿った公園を設ける。

「学び」のブロックは、

7ブロックに分け公園 図書館、バスケットのコート

市民が不要となった本を積み重ねて図書館をつくる。「アクティブ・スポーツ」ではフットサルやバスケットボールのコートなどを設置する。「並木のトンネル」は桜の木を植え、ドッグランも整備する構想。移動式店舗を開店できる商業スペースなどもある。

市民が不要となった本を積み重ねて図書館をつくる。「アクティブ・スポーツ」ではフットサルやバスケットボールのコートなどを設置する。「並木のトンネル」は桜の木を植え、ドッグランも整備する構想。移動式店舗を開店できる商業スペースなどもある。

的な利用は聞いたことがないため、世界的なモデルを目指す」と意気込む。

しかし実現には公園の管理や運営、費用などが担うか、公的施設で移動式店舗が出店できる仕組みをつくれるかなどの課題が残されている。

提案書を受け取った知事は「市民の思いが伝わった。プランをできる限り早く実現できるようにしたい」と述べた。

大分駅 百年史

100th anniversary OITA Station

明治

明治14年(1881年)
大分駅開業
国有鉄道(現JR)大分線の開業。大分駅は、大分県大分市大分町に開設された。開業時は、大分本線(現大分線)の終点であった。



大正3年(1914年)
幸崎駅・犬飼駅まで開通
大分本線が幸崎駅まで開通。大分駅は、大分県大分市大分町に開設された。開業時は、大分本線(現大分線)の終点であった。

大正4年(1915年)
小野屋駅まで開通
大分本線が小野屋駅まで開通。大分駅は、大分県大分市大分町に開設された。開業時は、大分本線(現大分線)の終点であった。

昭和2年(1927年)
大分駅が統合
大分本線が国有化。大分駅は、大分県大分市大分町に開設された。開業時は、大分本線(現大分線)の終点であった。

昭和9年(1934年)
久大本線の全線開通
久大本線が全線開通。大分駅は、大分県大分市大分町に開設された。開業時は、大分本線(現大分線)の終点であった。

昭和20年(1945年)
空襲により駅舎全焼
大分駅は、大分県大分市大分町に開設された。開業時は、大分本線(現大分線)の終点であった。

昭和30年(1955年)
昭和30年頃の風景
大分駅は、大分県大分市大分町に開設された。開業時は、大分本線(現大分線)の終点であった。

昭和33年(1958年)
現・大分駅舎完成
大分駅は、大分県大分市大分町に開設された。開業時は、大分本線(現大分線)の終点であった。



昭和39年(1964年) 昭和40年(1965年) 昭和41年(1966年) 昭和42年(1967年) 昭和43年(1968年) 昭和44年(1969年) 昭和45年(1970年) 昭和46年(1971年) 昭和47年(1972年) 昭和48年(1973年) 昭和49年(1974年) 昭和50年(1975年) 昭和51年(1976年) 昭和52年(1977年) 昭和53年(1978年) 昭和54年(1979年) 昭和55年(1980年) 昭和56年(1981年) 昭和57年(1982年) 昭和58年(1983年) 昭和59年(1984年) 昭和60年(1985年) 昭和61年(1986年) 昭和62年(1987年) 昭和63年(1988年) 昭和64年(1989年) 昭和65年(1990年) 昭和66年(1991年) 昭和67年(1992年) 昭和68年(1993年) 昭和69年(1994年) 昭和70年(1995年) 平成元年(1989年) 平成2年(1990年) 平成3年(1991年) 平成4年(1992年) 平成5年(1993年) 平成6年(1994年) 平成7年(1995年) 平成8年(1996年) 平成9年(1997年) 平成10年(1998年) 平成11年(1999年) 平成12年(2000年) 平成13年(2001年) 平成14年(2002年) 平成15年(2003年) 平成16年(2004年) 平成17年(2005年) 平成18年(2006年) 平成19年(2007年) 平成20年(2008年) 平成21年(2009年) 平成22年(2010年) 平成23年(2011年) 平成24年(2012年) 平成25年(2013年) 平成26年(2014年) 平成27年(2015年) 平成28年(2016年) 平成29年(2017年) 平成30年(2018年) 平成31年(2019年) 令和元年(2019年) 令和2年(2020年) 令和3年(2021年) 令和4年(2022年) 令和5年(2023年) 令和6年(2024年) 令和7年(2025年) 令和8年(2026年) 令和9年(2027年) 令和10年(2028年) 令和11年(2029年) 令和12年(2030年)

昭和39年(1964年)
名物「夫婦クスの木」を伐採
大分駅のシンボルである「夫婦クスの木」が伐採された。この木は、大分駅の歴史を象徴する存在であり、多くの旅行者から愛されていた。

昭和41年(1966年)
西大分、大分駅間複線化
大分駅と西大分駅間の線路が複線化された。これにより、列車の運行がスムーズになり、乗客の利便性が向上した。

昭和42年(1967年)
北九州、幸崎駅間電化
北九州と幸崎駅間の線路が電化された。これにより、列車の運行速度が向上し、乗客の利便性が向上した。

昭和49年(1974年)
さようなら 蒸気機関車
大分駅を走る最後の蒸気機関車が引退した。これにより、大分駅の歴史が新たなページを開いた。

昭和50年(1975年)
昭和50年頃の駅舎
昭和50年頃の駅舎の様子。当時の駅舎は、大分駅の歴史を象徴する存在であり、多くの旅行者から愛されていた。

昭和57年(1982年)
大友宗麟像設置
大分駅に大友宗麟の像が設置された。大友宗麟は、大分県の歴史を象徴する存在であり、多くの旅行者から愛されていた。

昭和59年(1984年)
車扱貨物の取扱を廃止
大分駅で車扱貨物の取扱が廃止された。これにより、大分駅の歴史が新たなページを開いた。

昭和62年(1987年)
牧駅・敷戸駅を開設
大分駅に牧駅と敷戸駅が開業した。これにより、大分駅の歴史が新たなページを開いた。

昭和65年(1990年)
国鉄分割民営化により JR九州がスタート
国鉄が分割民営化され、JR九州がスタートした。これにより、大分駅の歴史が新たなページを開いた。

平成7年(1995年)
ソニック運行開始
大分駅にソニック号の運行が開始された。これにより、大分駅の歴史が新たなページを開いた。

平成13年(2001年)
白いソニック運行開始
大分駅に白いソニック号の運行が開始された。これにより、大分駅の歴史が新たなページを開いた。

平成16年(2004年)
国道10号万寿 逆立交差
大分駅に国道10号万寿の逆立交差が完成した。これにより、大分駅の歴史が新たなページを開いた。

平成20年(2008年)
豊肥・久大本線 高架開業
大分駅に豊肥線と久大本線の高架が開業した。これにより、大分駅の歴史が新たなページを開いた。

平成21年(2009年)
さようなら寝台特急「富士」
大分駅を走る最後の寝台特急「富士」が引退した。これにより、大分駅の歴史が新たなページを開いた。

平成23年(2011年)
春日陸橋(王子跨線橋)撤去
大分駅に春日陸橋(王子跨線橋)が撤去された。これにより、大分駅の歴史が新たなページを開いた。

平成25年(2013年)
大道陸橋(田室跨線橋)撤去
大分駅に大道陸橋(田室跨線橋)が撤去された。これにより、大分駅の歴史が新たなページを開いた。

平成26年(2014年)
大分駅開業100周年
大分駅開業100周年を迎えた。これにより、大分駅の歴史が新たなページを開いた。

平成28年(2016年)
日豊本線高架開業
大分駅に日豊本線の高架が開業した。これにより、大分駅の歴史が新たなページを開いた。



大分県土木建築部 都市計画課

〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号
TEL 097-506-4648 FAX 097-506-1778

DVD 操作説明

- 最初にDVDを挿入するとオープニング映像が流れます。
再生中トップメニューボタンを押すとメインメニュー画面へジャンプします。
- ボタンの操作はプレーヤー付属のリモコンで行って下さい。

メインメニュー画面



●ダイジェスト映像

再生中にトップメニューボタンもしくはメニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

●年代別メニューへジャンプ

方向ボタンで視聴したい年代を選び決定ボタンを押すと年代別メニューへジャンプします。

年代別メニュー画面(14画面)



(例 2001年のメニュー画面)

●左側 年代別メニューへジャンプ

方向ボタンで選択後、決定ボタンを押すと各メニューへとジャンプします。

●右側タイトル別映像

方向ボタンで選択後、決定ボタンを押すと写真、映像が再生されます。
再生中にトップメニューボタンもしくはメニューボタンを押すとメインメニューに戻ります。

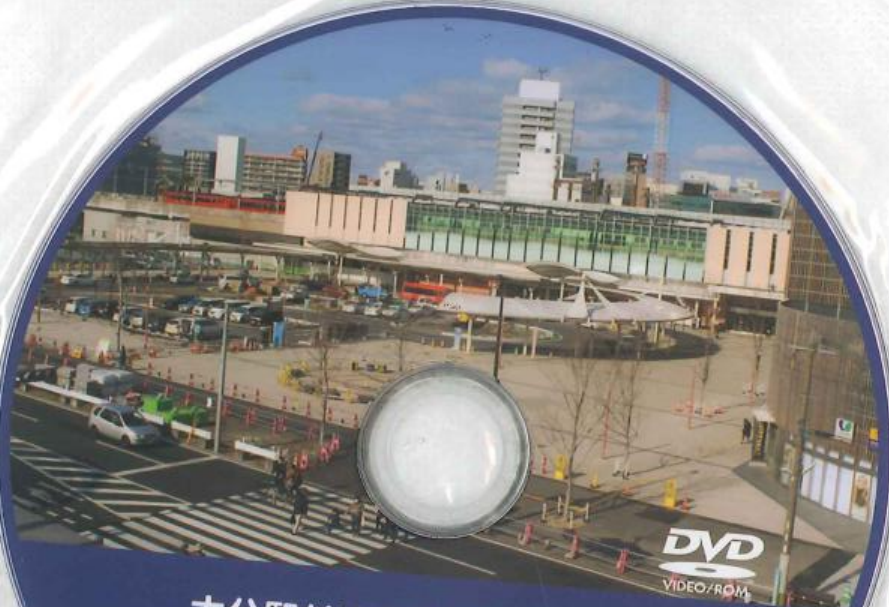
●～2001年次へ

年代(～2001年)のみ2つのメニューで構成されています。選択後、決定ボタンを押すと次のメニューへジャンプします。

●下部メインメニューボタン

選択後、決定ボタンを押すとメインメニューへジャンプします。

DVDの規格上、全てのDVDプレーヤーでの動作保障は致しかねます。また、操作方法はプレーヤーによって異なる場合がありますので詳しくはご使用になるプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。



DVD
VIDEO/ROM

大分駅付近連続立体交差事業

事業誌

非売品

制作年度：2014年
企画・制作：大分県



事業着手前（1998年）の大分駅北口